

## つくば市民白書 2012 実行委員会 第 1 回会合議事録（案）

日時：2010 年 4 月 29 日(木祝日)13:00-17:00

場所：春日木公民館

出席者：河村、亀山、大庭、寺門、早川、野崎、山本、安田、横井、矢澤、酒井、原田

議題：

- (1) 準備会からの経過報告と提案
- (2) 自己紹介と協議
- (3) スケジュールの作成
- (4) その他

### (1) 報告

河村準備会代表のあいさつのあと、自己紹介を行い、続いて原田準備会事務局長より 2008 年白書の実行委員会と 2012 白書準備会の経過報告、会計報告が行われた。

#### ①経過報告

2008 年白書は 2007 年 6 月に新しいつくばを創る市民の会が呼びかけ、9 月に第 1 回実行委員会開催、2008 年 1 月より原稿依頼が始まり 7 月に 1000 部、8 月に追加 500 部が発行された。実行委員会は 2008 年 11 月に解散し、2009 年 5 月より次の白書準備会が発足した。

#### ②会計報告

2008 年白書の会計は収入約 67 万、支出 64 万、差し引き約 3 万ほどの黒字となった。

#### ③実行委員募集状況

2008 実行委員執筆者を中心に 43 個人、131 団体に案内を送付した。そのほか電話、メール、fax、口頭で連絡を行い 8 件の応答があった。

### (2) 提案

2012 白書の内容と実行体制について、原田準備会事務局長が準備会からの提案を説明した。

#### ①白書の目的と内容

目的は、つくばの市政と暮らしの現状・問題点・今後の課題などを市民の視点から冊子にまとめて市民に提示することである。内容は 2008 年版を参考にしてつくば市の財政、行政運営、医療・福祉、教育、文化、環境、商工業、農業などについての報告・解説・意見・提言である。

#### ②実行体制

実行委員会が、編集方針と項目を決定し、執筆者を選定して執筆依頼を行う。最終原稿は執筆者が実行委員会と協議を行いながら作成する。

#### ③スケジュール

2010 年 4 月～2011 年 4 月、予備調査、勉強会などを開きながら白書の企画を立てる。

2011 年 4 月～2012 年 4 月、編集作業。2012 年 4 月、完成予定。

### (3) 協議

#### ①体制

実行委員長：河村俊次、事務局長：原田 泰を選任した。実行委員会は以下の準備会メンバー 12 名と新メンバーの 8 名の計 20 名で発足する。

1	遠藤 茂	えんどう しげる
2	大庭 英雄	おおば ひでお
3	岡野 一雄	おかの かずお
4	亀山 大二郎	かめやま だいじろう

5	川中 裕史	かわなか ひろし
6	河村 俊次	かわむら しゅんじ
7	酒井 泉	さかい いずみ
8	鈴木 太美雄	すずき たみお
9	塚本 宏幸	つかもと ひろゆき
10	寺門 宏倫	てらかど ひろのり
11	樋田 幸夫	といだ ゆきお
12	野口 修	のぐち おさむ
13	野崎 浩司	のざき こうじ
14	早川 公	はやかわ こう
15	原田 泰	はらだ たい
16	矢澤 容子	やざわ ようこ
17	安田 早苗	やすだ さなえ
18	矢作 榮一	やはぎ えいいち
19	山本 千秋	やまもと ちあき
20	横井 美喜代	よこい みきよ

### ②出版内容に対する責任

この問題についてはさらに継続することとなったが、内容に関する責任は基本的に執筆者にあることを明確にするために目次に執筆者名を入れる、主要項目についてシンポジウムを開催して公開で意見交換をすることが提案された。

### ③主要課題

**TX** 沿線開発事業に伴う費用が今後つくば市の財政の危機を招く可能性が大きいことが指摘され、2012 白書では市の財政解析と沿線開発に関する諸問題を主要課題と扱うことが合意された。

### ④当面のスケジュール

当面、亀山氏、市職労、酒井氏を講師に市の財政解析と沿線開発に関する勉強会を行う。

6月26日(土) 亀山 大二郎

7月(予定) つくば市職労

未定 酒井 泉

### (3) 次回

次回は6月26日(土) 13:00-16:00 並木公民館(和室)(5月8日に確定した)

(以上)